

---

# AGEphone Business 3 マニュアル

---

For Windows 8.1 / 10



Version 1.4.1.6(2018/2/21) 株式会社 ageet

## 目次

|                                |           |  |  |
|--------------------------------|-----------|--|--|
| <b>1. はじめに</b>                 | <b>3</b>  |  |  |
| 1.1 AGEphone Business 3とは      | 3         |  |  |
| 1.2 AGEphone Business 3の主な機能   | 3         |  |  |
| 快適な操作性                         | 3         |  |  |
| 広範囲の互換性                        | 3         |  |  |
| 通話録音機能                         | 3         |  |  |
| 広帯域コーデックに対応                    | 3         |  |  |
| ソフトウェアエコーキャンセリング               | 3         |  |  |
| <b>2. 設定順序</b>                 | <b>4</b>  |  |  |
| 2.1 サービスを用意する                  | 4         |  |  |
| 2.2 簡易設定（初回起動画面）               | 4         |  |  |
| 2.3 設定画面                       | 4         |  |  |
| 2.4 アカウント設定                    | 5         |  |  |
| 2.5 全般設定                       | 7         |  |  |
| ネットワーク設定関連                     | 7         |  |  |
| STUNサーバのリスト                    | 8         |  |  |
| SIP設定関連                        | 8         |  |  |
| メディア設定関連                       | 9         |  |  |
| ショートカット設定関連                    | 10        |  |  |
| 2.6 アクションURL                   | 10        |  |  |
| アクションURLの応用例                   | 11        |  |  |
| <b>3. URLプロトコル連携</b>           | <b>12</b> |  |  |
| 3.1 機能説明                       | 12        |  |  |
| 3.2 関連付けの設定                    | 12        |  |  |
| <b>4. 操作方法</b>                 | <b>13</b> |  |  |
| 4.1 ポップアップメニュー                 | 13        |  |  |
| 待ち受け状態                         | 14        |  |  |
| 通話録音                           | 14        |  |  |
| ツール                            | 14        |  |  |
| 4.2 SIPサーバへの登録                 | 15        |  |  |
| 4.3 着信時                        | 15        |  |  |
| 4.4 発信時                        | 15        |  |  |
| 4.5 通話をする                      | 15        |  |  |
| 4.6 通話のキャンセル                   | 15        |  |  |
| 4.7 通話を切断する                    | 15        |  |  |
| 4.8 通話を保留する                    | 15        |  |  |
| 4.9 通話を転送する                    | 15        |  |  |
| 4.10 音量を調節する                   | 15        |  |  |
| 4.11 ショートカット登録                 | 16        |  |  |
| 4.12 アプリケーションを最小化する            | 16        |  |  |
| 4.13 アプリケーションを終了する             | 16        |  |  |
| 4.14 通話履歴                      | 16        |  |  |
| 通話履歴の格納場所                      | 16        |  |  |
| 外部アプリ例-SQLite Database Browser | 17        |  |  |
| <b>5. アドレス帳</b>                | <b>18</b> |  |  |
| 5.1 アドレス帳のエクスポート               | 18        |  |  |
| 5.2 アドレス帳のインポート                | 18        |  |  |
| <b>6. AGEphone CRM連携</b>       | <b>19</b> |  |  |
| 6.1 AGEphone CRMについて           | 19        |  |  |
| 6.2 AGEphone CRM連携を有効にする       | 19        |  |  |
| <b>7. その他</b>                  | <b>20</b> |  |  |
| 7.1 制限事項                       | 20        |  |  |
| <b>8. お問い合わせ先</b>              | <b>21</b> |  |  |

# 1. はじめに

## 1.1 AGEphone Business 3とは

AGEphone Businessはビジネス用途としてIP電話をソフトウェアで実現したソフトフォン(IP電話ソフトウェア)です。ビジネスシーンで利用されるユーザーのために開発されたAGEphone Businessを利用する事で、お持ちの内線電話が利用可能になります。

## 1.2 AGEphone Business 3の主な機能

### 快適な操作性

キーボード、マウスどちらか一方だけの操作でも目的の相手先に軽快な動きで接続することができます。例えば2文字以上の番号入力で該当する電話番号をアドレス帳から、よく電話する頻度順に並べ替え上位10名分の候補を瞬時に表示します。また通話履歴もカーソルキーの操作だけで、直近の発信履歴、着信履歴を瞬時にポップアップ表示します。

### 広範囲の互換性

多彩なパラメータチューニングによる広範囲の互換性があります。ベースのエンジンには「スマホdeひかり電話」などで実績のあるSipManagerの最新エンジンが使用されています。設定画面では、アカウントごとの設定や、全体の設定では音声品質に関連する様々な設定が細やかに行えます。また、トランスポートにはUDPだけでなく、TCPやTLSもサポートしていますので、セキュアな環境でのIP電話が実現出来ます。

### 通話録音機能

通話ごとに通話の内容を録音することができます。録音されたファイルはPCのストレージに保存されます。1分間通話した場合おおよそ1.8MBのストレージ容量を消費します。

### 広帯域コーデックに対応

通常の固定電話で用いられる8KHz帯の音声コーデックはもちろんのこと、次世代の広帯域コーデック(16KHz帯)の音声コーデックを複数搭載(Speex 16000/SILK 16000/G722等)しています。

### ソフトウェアエコーキャンセリング

ソフトウェアによるエコーキャンセリングの有効無効を設定できます。エコーキャンセリングとは、スピーカーから出力された音声、そのままマイクの入力に回りこんで通話相手にエコー(やまびこ)のように聞こえることを防ぐ機能です。

## 2. 設定順序

### 2.1 サービスを用意する

通話を行うにはIP電話サービスが必要です。IP電話サービスにもメールアドレスのようなSIPアドレスと呼ばれるものがあり、これをAGEphone Businessにあらかじめ設定しておきます。また、オープンソースのIP-PBXであるアスタリスクサーバやOpenSIPS、FreeSWITCH、そしてBrekeke PBX等と連携することで内線IP電話としてご利用いただくことも可能です。

(NTTのフレッツひかり電話のホームゲートウェイの特定機種において動作確認をいたしました。)

### 2.2 簡易設定（初回起動画面）



シンプルな設定で利用したい。複雑な設定を必要としないサーバをご利用のお客様はこの簡易設定より設定を行って頂く事が可能です。

**シリアル番号**（ライセンス番号）は、購入時に発行される16文字の鍵となっております。この値を間違ってしまうと、正しく動作することができませんのでご注意ください。

**SIPサーバアドレス**にはSIPサーバのIPアドレスもしくはドメイン名を記入します。

**ユーザID or 内線番号**には自分のSIPアカウントのIDもしくは電話番号を記入します。

**パスワード**には、SIPアカウントのパスワードを記入します。大文字小文字の区別や、半角入力になっているかなどご注意ください。

### 2.3 設定画面

AGEphone Businessのダイヤル画面、上部のボタンを押せば設定画面が開きます。

設定は、簡易設定として初回起動画面でも行えますが、細かい設定を行なっていただくときは、設定ボタンを押して詳細設定を行うことができます。

## 2.4 アカウント設定

アカウント設定

1022@192.168.1.10

サーバ情報

SIPドメイン 192.168.1.10

SIPプロキシ 192.168.1.10

SIPレジストラ 192.168.1.10

ユーザ情報

ユーザID 1022

表示名 1022

認証ID 1022

パスワード ●●●●●●●●

サーバオプション

レジスター間隔 3600

セッション間隔 300

キープアライブ間隔 15

ページング

接続種別 UDP

保留の種類 RFC 3264

プライバシー Not Used

コンタクト値を難読化

新規 削除 規定 規定 CRMの設定 全般の設定 OK キャンセル

**ユーザID**は社内で利用している内線番号を入力します。また、050番号を使った発着信を行いたい場合は、050ではじまる番号を入力します。（この時'-'ハイフンは省略してください）050番号を使わない場合は任意の文字列を入力出来ます。

**表示名**は省略する事も可能ですが、通常はユーザIDと同じ番号を入力します。  
\* 表示名と認証IDは省略する事が可能です。

**認証ID**とは、SIPアドレス内に含まれているユーザIDとは別に、サーバを利用するために認証を行うときのIDになります。希にサービス事業者により、ユーザIDと認証IDが同じ時もあります。

**パスワード**は通常認証IDと対（ペア）になっています。

**SIPドメイン**および**SIPプロキシ**入力項目には、SIPサーバのアドレスを指します。IPアドレスを直接入力することもできます。

ご利用のサービス業者によって、提供されるアカウント情報の記述が多種多様であるため、ここでは特定のサービスを取り上げた形での記述はしていませんが、ご参考までに記述例を以下に記載します。

| AGEphone Business | 他社記述例                   |
|-------------------|-------------------------|
| ユーザID             | VoIP電話番号<br>DID<br>電話番号 |
| 表示名               | 同上                      |
| 認証ID              | VoIPユーザID<br>ユーザ名       |
| パスワード             | VoIPユーザパスワード<br>認証パスワード |

**SIPレジストラ**はサービス事業者から指定を受けていない場合は、SIPドメインと同じアドレスになります。

**レジスター間隔**は通常、規定値で問題ありませんがご利用中のサービス業者様より指定の値が存在する場合はその内容を反映させて下さい。

**セッション間隔**は通常、規定値で問題ありませんがご利用中のサービス業者様より指定の値が存在する場合はその内容を反映させて下さい。

**ページング**は有効にする事で、着信時のパケットの中のCallInfoヘッダーにanswer-after=0が含まれる着信が届いた場合に自動応答（通話開始）します。

**キープアライブ間隔**はSTUNを使いNAT越を行う設定が有効な時に、ここで設定したKeep-Aliveパケットの送出間隔でSTUNサーバにキープアライブを送出します。

**保留形式**はRFC2543（旧形式）、RFC 3264、Streamingの中から設定が行えます。利用中のサービスが旧式の保留シーケンスを利用している場合はここでRFC2543（旧形式）を選択して下さい。

**接続種別**は通常、規定値のUDPで問題ありませんがご利用中のサービスがTCP接続を利用している場合はTCPを選択して下さい。

**プライバシーの種類**は使わない、None、およびIDの中から選択が行えます。これはご利用中のサーバがプライバシー機能に対応している場合、有効にする事によって非通知発信が可能になる機能です。

**コンタクト値を難読化**（匿名性を高める）を有効にするとSIPパケットのcontactヘッダフィールドに用いるユーザインフォ部をランダムな文字列に置き換えます。

## 2.5 全般設定

ここでの設定は、すべてのアカウントでの共通の設定になります。

### 全般設定

ネットワーク

待ち受けSIPポート   トラnsポートにUDPを使う

メディア開始ポート   トラnsポートにTCPを使う

STUN サーバアドレス   トラnsポートにTLSを使う

STUNを使いNAT越えを行う

WebSocketを使いWEBと連携する PIN

他のPCからのWebSocket接続を許可する

SIP

NAT越えのためのシンメトリック応答ルーティングを有効にする

静的ペイロードタイプをRTPMAPに記載する

REPLACE付転送を使う

着信タイムアウトで留守番電話 タイムアウト(秒)

メディア

着信音デバイス

音声出力デバイス

音声入力デバイス

USBハンドセット

最大ジッタバッファ   メディア暗号化(SRTP)

パケット長 (ptime)   無音圧縮(VAD)

DTMF種別   通話録音自動開始

Ogg形式で録音する

エコーキャンセル

コーデック優先順位

| 有効         |    | 無効          |
|------------|----|-------------|
| pcmu       | 上  | SILK/12000  |
| gsm        | 下  | SILK/16000  |
| pcma       | << | SILK/24000  |
| speex/8000 | >> | SILK/8000   |
|            |    | g722        |
|            |    | opus        |
|            |    | speex/16000 |

ショートカット

発信/応答

切断

アクションURL  関連付けの設定

### ネットワーク設定関連

待ち受けSIPポートではSIPのポート番号を変更することができます。ポート番号は1024~65535までの間で設定して下さい。デフォルトでは5060ポートになっています。特に指定がない場合は5060を指定してください。

メディア開始ポートではRTP開始ポート番号を変更することができます。特に指定がない場合は4000を指定してください。実際に使用されるポートは開始ポートを含め+20となり、4000-4019ポートをメ

ディア用に使用します。

**STUNサーバアドレス**にアドレスを入力しておくでNAT越え設定でSTUNが選択された際にこのアドレスを使用してNAT越えを試みます。STUNサーバは公開されている有効なサーバをご利用になるか、もしくは任意のアドレスをご入力ください。この項目は省略可能です。この項目を有効にするには「**STUNを使いNAT越えを行う**」にチェックを入れてください。

公開STUNサーバ参考URL

<https://www.google.co.jp/search?q=public+stun+server>

STUNサーバのリスト

|                          |                |
|--------------------------|----------------|
| stun.l.google.com:19302  | stun.ekiga.net |
| stun1.l.google.com:19302 | stun.iptel.org |
| stun2.l.google.com:19302 | stunserver.org |
| stun3.l.google.com:19302 |                |
| stun4.l.google.com:19302 |                |

**WebSocketを使いWEBと連携する**ではWebSocketによるWEB連携機能の有効/無効を切り替える事が出来ます。この機能を利用するにはWEB側が対応している必要がありますが、以下のChromeプラグインを利用する事でAGEphoneBiz3のWebSocket連携機能を体験できます。

AGEphone for Chrome

[https://chrome.google.com/webstore/search/AGEphone?utm\\_source=chrome-ntp-icon](https://chrome.google.com/webstore/search/AGEphone?utm_source=chrome-ntp-icon)

**他のPCからのWebSocket接続を許可する**場合はPINコードを設定してください。PINコードを設定すると、Web側と同じPINコードのアクセスのみ接続を許可します。（同一PCからのみ接続されるという場合は、この設定はOFFのままご使用ください。）

他のPCから接続される場合は、セキュリティー設定を十分確認された上、ローカルネットワーク以外からのアクセスを遮断されていることを確認し、他のPCからの接続はローカルネットワーク内のみで使用されることを強く推奨します。

なお、他のPCからのWebSocket接続を行うにはファイアウォールの設定を変更する必要がある場合があります。AGEphoneBiz3の通信が許可されている事を確認してください。

**トランスポートにUDP/TCP/TLSを使う**という設定では複数オン（チェック）することが出来ます。しかし全てチェックを外すことはできません。どれかを1つはチェックしてください。特に指定がない場合はUDPを選んでください。暗号化対応があるサーバを使用する場合はTLSを選んでください。

## SIP設定関連

NAT越えのためのシンメトリック応答ルーティングを有効にする  
 静的ペイロードタイプをRTPMAPに記載する  
 REPLACE付転送を使う  
 着信タイムアウトで留守番電話   タイムアウト(秒)   

**NAT越えのためのシンメトリック応答を有効にする**をオンにすると、RFC3581に基づきリクエストが生成されたソースIPアドレスおよびポートへ、応答を返すようにサーバへ要求します。（RFC3581に対応していないSIPサーバではBad Requestを返してくることがあるのでご注意下さい）

**静的ペイロードタイプをRTPMAPに追加する**をオンにするとSIPのパケットにRTPのペイロード種別を記載します。通常は必要ありませんが、サーバによっては記載がないとエラーを返すものがあります。

**REPLACE付転送を使う**をオンにすると通話の転送を行う際にREPLACEヘッダを使用します。SIPサーバによって必要の有無が異なりますが、転送に問題がないときには変更の必要がありません。

着信タイムアウトで留守番電話とタイムアウト（秒）の設定ではチェックをオンにすることで、着信状態で、指定秒数経過した場合に留守番電話として応答するようになります。

## メディア設定関連

|           |             |   |
|-----------|-------------|---|
| 着信音デバイス   | Wave mapper | ▼ |
| 音声出力デバイス  | Wave mapper | ▼ |
| 音声入力デバイス  | Wave mapper | ▼ |
| USBハンドセット | OFF         | ▼ |

**着信音デバイス**では電話の着信時に、着信音を再生するためのデバイスを選びます。

**音声出力デバイス**では通話時に、通話音声を再生するためのデバイスを選びます。

**音声入力デバイス**では通話時に、通話音声を入力（録音）するためのデバイスを選びます。

**USBハンドセット**では通話に用いるハンドセットを選択します。対応デバイスは一覧表示されますが、対応していないデバイスは一覧に表示されません。

|               |         |   |  |
|---------------|---------|---|--|
| 最大ジッターバッファ    | 80      | ▼ | <input type="checkbox"/> メディア暗号化(SRTP) |
| パケット長 (ptime) | Default | ▼ | <input type="checkbox"/> 無音圧縮(VAD)     |
| DTMF種別        | Inband  | ▼ | <input type="checkbox"/> 通話録音自動開始      |
|               |         |   | <input type="checkbox"/> Ogg形式で録音する    |
|               |         |   | <input type="checkbox"/> エコーキャンセル      |

**最大ジッターバッファ**でより大きい数値（単位はミリ秒）を設定するとその分の遅延が発生しますが指定された秒数間のバッファがなくなるまで音飛びを防ぐことが可能になります。

**パケット長 (ptime)**ではパケットの長さを10msecから50msecの中で指定が行えます。通常変更することはありませんが、無線接続などで音飛びがひどい場合、40msec以上を選ぶことで改善される場合があります。ただしこの設定はサーバの仕様に依存し、変更できない場合があります。

**DTMF種別**ではDTMFを2種類選択することができます。Inbandを選択した場合はみなし音声としてDTMF信号を送出します。Inbandで送出的場合、コーデックはpcmuもしくはpcma以外の動作保証はしていません。RFC2833の種類を選べば、DTMF信号をRFC2833に準拠した形式で送付します。RFC2833はサーバ（ゲートウェイ等）側で対応している必要があります。

**メディア暗号化 (SRTP)**をオンにすると、SDES方式で音声パケットを暗号化します。この設定はサーバが対応している必要があります。

**無音圧縮 (VAD)**をオンにすると無音時にパケットを送らないようにします。

**通話録音自動開始**をオンにすると、通話開始時に、通話録音を開始します。

**Ogg形式で録音する**をオンにすると、通話録音ファイルをoggフォーマットで出力します。

**エコーキャンセル**をオンにすると、ソフトウェアエコーキャンセルを行います。これにより相手に聞こえるエコーが軽減されます。

| コーデック優先順位 | 有効         |    | 無効          |
|-----------|------------|----|-------------|
|           | pcmμ       | 上  | SILK/12000  |
|           | gsm        | 下  | SILK/16000  |
|           | pcma       | << | SILK/24000  |
|           | speex/8000 | >> | SILK/8000   |
|           |            |    | e722        |
|           |            |    | speex/16000 |

コーデック優先順位では、有効時の優先度と、使用するコーデックのオン/オフがリストにより設定出来ます。有効にする場合は左のリストに。無効にする場合は右のリストに入れてください。左のリストに入れるには右のリストから入れたいコーデック名を選び、「<<」ボタンを押します。

## ショートカット設定関連

| ショートカット |       |
|---------|-------|
| 発信/応答   | Enter |
| 切断      | Esc   |

**発信/応答**でEnterやShift+Enterを設定しておくで電話番号入力後に、クリック操作を行わなくても、ショートカットコマンドを入力することにより発信操作が実行されます。

**切断**でEscやShift+Escを設定しておくで電話番号入力後に、クリック操作を行わなくても、ショートカットコマンドを入力することにより切断操作が実行されます。

## 2.6 アクションURL

アクションURL

|       |       |       |       |         |
|-------|-------|-------|-------|---------|
|       | 相手のID | 相手の名前 | 自分のID | Call ID |
| 着信時   |       |       |       |         |
| 発信時   |       |       |       |         |
| 通話開始時 |       |       |       |         |
| 切断時   |       |       |       |         |
| OK    |       | キャンセル |       |         |

着信時、発信時、通話開始時、切断時、それぞれのタイミングでWEBサービスと連携することができます。

またパラメータとして使えるのは次の4つです。

**相手のID** (番号) ...%rid%

**相手の名前**...%rname%

**自分のID** (番号) ...%lid%

**Call ID**...%callid%

Call IDとは、通話ごとにユニーク (一意) になるIDのことで、通話を識別する際に利用できます。

着信時にその相手の番号をGoogleで調べたいときは、

「<https://www.google.co.jp/search?q=%rid%>」とします。

名前で調べる場合は「<https://www.google.co.jp/search?q=%rname%>」とします。

例えば上記のような設定にすれば、着信した時には相手の番号で検索し、通話開始時には相手の名前（アドレス帳に登録されている場合）で検索することができます。この様にWEB連携が可能ですのでCRMなどのWEBアプリケーションと容易に連携することができます。

### アクションURLの応用例

<http://www.denwabango.info> というサイトがあります。このサイトではあやしい電話番号の検索を行うことができます。しかし、着信があつて直ぐこのサイトを開いて番号を検索するのは難しいため、アクションURLが活躍します。

アクションURLの「着信時」に「<http://www.denwabango.info/%rid%/>」と登録してみてください。着信と同時にその番号が怪しくないか検索出来ます。

## 3. URLプロトコル連携

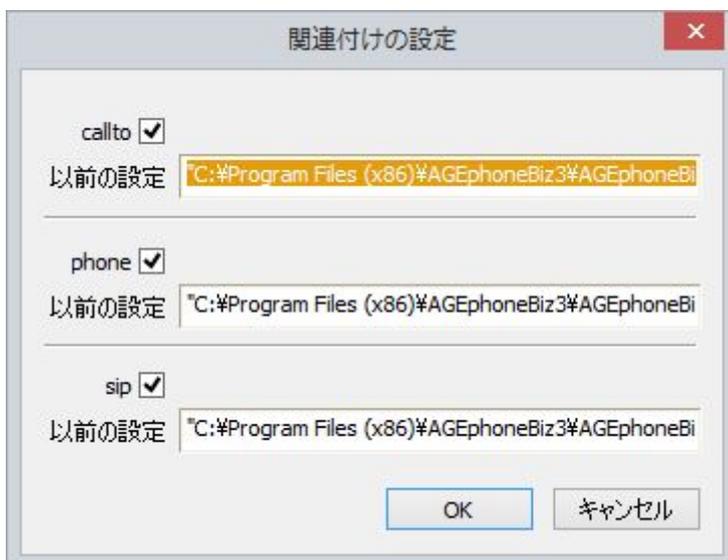
### 3.1 機能説明

Webブラウザ等から特定の形式のリンクをクリックする事で、AGEphoneでの発信が可能です。例えば下記形式のリンクをクリックした場合、AGEphoneで613番に発信を行います。  
<a href="callto://613">エコーテスト</a>

連携可能な形式は下記の通りです。

- callto://XXX
- phone://XXX
- sip://XXX
- agephone://XXX

### 3.2 関連付けの設定



AGEphoneの初回起動時にはブラウザからリンクをクリックした時、AGEphoneから発信を行うように自動的に関連付けられていますが、Skype等、他のアプリケーションによって関連付けを奪われる場合があります。

**関連付けの設定**でチェックを入れる事で、AGEphoneに再度関連付けを行う事ができます。また、チェックを外す事で、AGEphoneに関連付ける前の設定に復元する事が可能です。

**以前の設定**にはAGEphoneに関連付けられる前に設定されていた値が表示されます。

## 4. 操作方法

キーボードから主要な操作は全て行えるように設計されています。（キーボードから行える操作は、ポップアップメニューの右にも記載がありますので、確認してください。）

メイン画面にフォーカスされている状態で、キーボードから数字を入力すればダイヤル先を入力できます。



### 4.1 ポップアップメニュー

メイン画面から右クリック（もしくはキーボードのコンテキストメニューボタン）をすることでポップアップメニューを開きます。

通話操作に関することは別途ご説明いたしますが、ポップアップメニューからでも、通話、切断などの電話の操作が可能です。



### マイクミュート

通話時に相手にこちらの声が聞こえないようにします。一度通話を切断すると、この設定はリセットされます。

### 切断で転送完了

転送を行う時に転送ボタンを押すのではなく、切断ボタンを押したタイミングで転送を完了します。ここにチェックが入っていない場合は、切断ボタンを押下すると現状の通話が切断されます。

### アドレス帳

別画面にアドレス帳を開きます。アドレス帳は予め用意しておくことで一致する電話番号があれば、名前を表示する機能があります。

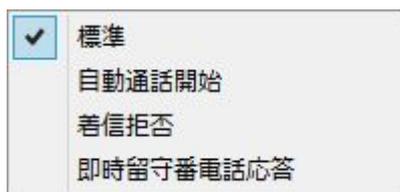
### 最小化

Windowsタスクバー右のタスクトレイに格納します。

### 最前面に表示

他のウインドウよりも手前に表示するようにします。

### 待ち受け状態



着信をどのように受けるかを指定出来ます。

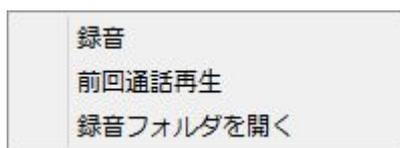
**標準**...着信音がなり、着信状態になります。

**自動通話開始**...自動的に通話状態になります。

**着信拒否**...着信を拒否します

**即時留守番電話応答**...直ぐに留守番電話として応答します

### 通話録音



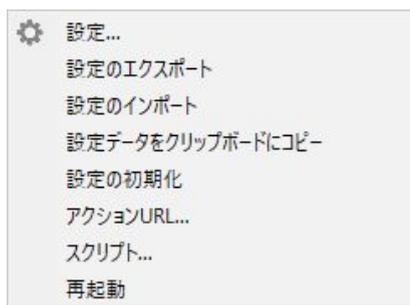
通話録音に関する操作ができます

**録音**...録音を開始します。チェックを外すと停止します。

**前回通話再生**...起動後における前回録音した通話を再生します。

**録音フォルダを開く**...録音を記録しているフォルダを開きます。

### ツール



**設定**...設定画面を開きます。

**設定のエクスポート**...設定されているアカウント情報をjson形式でエクスポートします。

**設定のインポート**...json形式で作成されたアカウント情報をインポートします。

**設定データをクリップボードにコピー**...設定されているアカウント情報をクリップボードにコピーします。

**設定の初期化**...アドレス帳や履歴、通話録音以外の保存データを削除します。

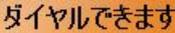
**アクションURL**...アクションURL画面を開きます。

**スクリプト**...スクリプト編集画面を開きます。

**再起動**...サーバとの接続を再度やり直します。

## 4.2 SIPサーバへの登録

---

設定画面にて登録されたSIPサーバに接続が成功すると、ステータス部には  「ダイヤルできます」のメッセージが現れ、 緑のランプが点灯します。この状態の時に、発着信が可能となります。

失敗している場合は  赤のランプが点灯します。この状態では発着信できませんのでご注意ください。適切なネットワーク環境が存在しない場合や、適切な設定が行われていない場合、処理待ちによりAGEphone Businessの画面の動作が遅く感じる場合があります。その際は接続環境や設定内容を再度ご確認ください。

## 4.3 着信時

---

着信番号が連絡先の電話番号にある場合その名前を表示します。また、この時着信履歴にもその名前が記録されます。

## 4.4 発信時

---

電話番号を入力した後、 (応答/発信ボタン)をクリックすることで発信を行います。

## 4.5 通話をする

---

着信中に  (応答/発信ボタン)を押すことで通話が開始されます。また、 ダイヤルボタンで相手先の番号を入力し、 (応答/発信ボタン)を押すことで発信できます。

## 4.6 通話のキャンセル

---

呼び出し音の再生中に  (切断ボタン)を押すことで発信の中断を行います。

## 4.7 通話を切断する

---

通話中に  (切断ボタン)を押すことで通話を切断できます。

## 4.8 通話を保留する

---

通話を保留する際には  (保留ボタン)を押してください。また、解除する際にも同じ位置に表示される  (保留解除ボタン)を押します。

\* 本製品の保留機能はRFC2327もしくはRFC3264に対応していない場合動作いたしません。

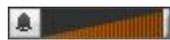
## 4.9 通話を転送する

---

通話を転送するには、2つの回線で通話を確立している必要があります。まず、1つ目の通話を保留状態にし、その状態で2つ目の通話をダイヤルしてください。転送を実施するには  転送ボタンを押して転送を完了させます。

## 4.10 音量を調節する

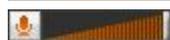
---



アプリケーション全体のボリュームを調整することができます。



通話ボリュームを調整することができます。



マイク入力のボリュームを調整することができます。またマイクのアイコンをクリックすることでマイクをミュート状態にすることができます。

## 4.11 ショートカット登録

ショートカットボタンはメイン画面中央に5x6個、合計30個配置されています。ここにはよくダイヤルする番号と名称を設定しておくことができます。

登録するには、ショートカットボタンの空欄を押下します。空欄でない場合は、そのボタンに設定されたダイヤル先にダイヤルを行います。

すでに登録されているショートカットを編集するときはキーボードのShiftキーを押しながらショートカットボタンを押下します。



ショートカットの登録画面には、表示名と、ダイヤル番号を入力する2つのエリアがあります。

表示名にはあまり長い文字を入れると表示が隠れてしまいますので全角4文字までを目安に入力してください。

ダイヤルには相手先の番号を入力します。ダイヤル先として入力できるのは次の文字列です。「0-9,a-z,A-Z,\*#\_」

## 4.12 アプリケーションを最小化する

メイン画面上部の  ボタンをクリックすることで、アプリをタスクトレイに格納し、常駐状態で待機することができます。元の状態に戻す場合はタスクトレイから、AGEphone Businessのアイコンを探し、クリックしてください。

## 4.13 アプリケーションを終了する

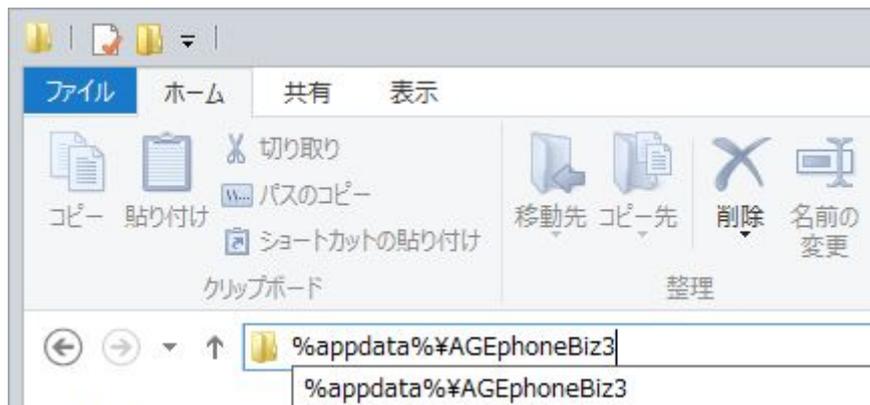
メイン画面上部の  (終了ボタン)をクリックすることで終了を行うことができます。なお通話中に終了すると、通話が切断されますので予めご注意ください。

## 4.14 通話履歴

通話履歴のモードは2種類あります。1つはメイン画面から簡単に呼び出せる簡易履歴と、アドレス帳から呼び出せる履歴があります。

簡易履歴では直近の10件のみをポップアップメニューで表示することができ、アドレス帳から呼び出せる履歴では、発信着信合わせて1000件までの履歴がリストに表示されます。

### 通話履歴の格納場所



通話履歴、及びアドレス帳のデータは、以下の場所に格納されています。バックアップや、消去を行う場合は、次のフォルダをご確認ください

**%appdata%\AGEphoneBiz3**

また、cdr.db というファイルは SQLite形式になっておりますので、SQLite対応の外部アプリとの連携が可能になっています。

**外部アプリ例-SQLite Database Browser**

<http://sourceforge.net/projects/sqlitebrowser/>

## 5. アドレス帳

メイン画面上部の  (アドレス帳ボタン)をクリックすることでアドレス帳を開く事ができます。

### 5.1 アドレス帳のエクスポート

アドレス帳画面のメニューから「アドレス帳>エクスポート」を選択する事で、CSV形式でエクスポート可能です。

### 5.2 アドレス帳のインポート

エクスポートしたCSVファイルは、アドレス帳画面のメニューから「アドレス帳>インポート」を選択する事でインポート可能です。

なおCSVファイルはカンマ区切りのCSVで文字コードはShift-JIS(Windowsの標準文字コード)でご利用ください。

山田 太郎,020-1111-3333,取引先,やまだ たろう,2  
伊藤 花子,020-2222-4444,友人,いとう はなこ,1

### 5.3 データ復旧方法

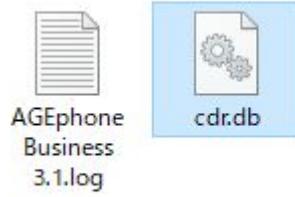
アドレスデータが壊れてしまった場合などは、初期状態に復旧する必要があります。

1. AGEphoneBusinessアプリと連絡先を終了した状態で実施して下さい。
2. 「ファイル名を指定して実行」で以下の文字列を入力して下さい  
**%APPDATA%\AGEphoneBiz3**

キーボードの「Windows」キーを押しながら「R」キーを押すことで「ファイル名を指定して実行」の画面を出すことができます。



3. OKを押すことで以下のファイルが有る場所を開くことができます。



4. cdr というファイルがあるので、これをbackup\_cdrというファイル名に変更します。  
(ファイルを選んでいる状態でF2キーを押すことでファイル名の変更が行えます。)

## 6. AGEphone CRM連携

### 6.1 AGEphone CRMについて

AGEphone CRMは法人のお客様向けのクラウドサービスです。  
アドレス帳を社内で一元管理する事が可能です。  
ご利用の際は弊社サポート support@ageet.com までお問い合わせください。

### 6.2 AGEphone CRM連携を有効にする

設定画面の「CRMの設定」をクリックし、AGEphoneCRMのアカウント情報を入力後、「AGEphone CRMを利用する」のチェックを入れることで、連携が有効になります。



The image shows a Windows-style dialog box titled "AGEphone CRMの設定" (AGEphone CRM Settings). It contains the following fields and controls:

- ドメイン** (Domain): Text input field containing "crm.agephone.biz".
- テナント** (Tenant): Empty text input field.
- ユーザー名** (Username): Empty text input field.
- パスワード** (Password): Empty text input field.
- 自動更新** (Auto Update): Dropdown menu set to "無効" (Disabled).
- AGEphone CRMを利用する** (Use AGEphone CRM): Checked checkbox.
- OK** button and **キャンセル** (Cancel) button.

## 7. その他

### 7.1 制限事項

---

Windows 7の動作については動作保証を行うことはできませんが、弊社環境においては動作を確認しております。

## 8. お問い合わせ先

株式会社ageet(アギート)のサポートセンター <https://www.ageet.com/contact> までお願いいたします。  
お電話でのサポートは受け付けておりませんので予めご了承くださいませ。  
また、動作報告など情報を募集しております。他にもこのような使い方があるなど、便利な情報をお寄せください。ブログなどでの紹介も大歓迎です。



開発元：株式会社 ageet(アギート)  
〒617-0002 京都府向日市寺戸町修理式13-98